



第53号

木曾川町連区



地域づくり協議会だより

【発行日】令和4年8月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会
〒木曾川町内割田一の通り127(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005
【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp
【ホームページ】<http://138kisogawa.org> 木曾川町連区で検索してね♪



↑
こちらからどうぞ

世代間の連携と活力あるまちづくりを

活気部会長 平林 哲也

活気部会では、本年度、次のような活動を企画、開催します。

- ①小中学生による『Junior Talk in Kisogawa』を今年度も夏休みに継続開催します。木曾川町の将来を担う小中学生が、まちづくりにどのように関わっていけるのか、どんなことができるのかなどを語り合いながら、その実現に向けたステップが踏めたらと考えています。
- ②木曾川町内3小学校と地域との連携活動として、『出前授業』を計画しています。3年生対象の地域学習、6年生対象の歴史学習を通して、子どもたちに身近な木曾川町の移り変わりや豊かな自然、受け継がれた文化などを学んでもらう機会をつくります。
- ③黒田小が今年度、木曾川西小が来年度、ともに開校150周年を迎えます。両校とも、さまざまな年代の卒業生のみなさんから、在学当時のエピソードをお寄せいただき、ホームページを通して紹介をします。
- ④川合玉堂生誕地として、川合玉堂に親しみを持ってもらうための企画を立てます。活気部会の活動にぜひご理解とご協力をお願いします。

地域の方々の安心安全のチカラに

安全安心部会長 中井 義也

いつも木曾川町連区地域づくり協議会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。昨年度に引き続き、令和4年度安全安心部会長を承ることになりました中井義也と申します。

今年度安全安心部会では、昨年開催できなかったHUGの開催を行いたいと思います。HUGというのは、H→避難所 U→運営 G→ゲームの略でございます。実際に災害が起きたときの現実を知り、今後の対策を立てる上で、とても重要なことを知ることができます。この活動を続けていき、地域の皆様と情報を共有しながら、災害時の基本的な行動を共有できればと思います。

安全・安心は、私たちが日頃意識し、その意識を結集することによって得られます。私たち安全安心部会では、この活動を通じて、地域の方々の安心安全にお役に立てればと思います。これからもどうぞ、ご協力よろしくお願い致します。

思いやり部会はご近所付き合いを通じ、高齢者等少し自立困難な方々の支援と、小学生児童登下校時の安全確保のため、各々ができる見守りネットワークについて協議し、今年度も2つの活動を実施します。

①高齢者認知症徘徊模擬訓練「声かけお助け隊」

団塊の世代が75歳になる2025年には、実に5人に1人が認知症になるといわれ、誰もが関わる病気といわれています。思いやり部会では「声かけお助け隊」のネーミングで下記による徘徊模擬訓練を実施し、認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていける社会（やさしい地域づくり）を目指します。

- 記 -

- ☆体験内容☆ 高齢者認知症者への声かけ練習
- ☆日時☆ 11月12日(土) 9時~12時
- ☆場所☆ 木曾川東小学校体育館
- ☆対象☆ 木曾川東小学校区にお住まいの方
(お子様も参加できます)
- ☆募集☆ 募集パンフレットは東小学校区の皆様に全戸配布
(ぜひご参加またはご見学にお越しください)



②高齢者等弱者を守るネットワークについて

思いやり部会は民生児童委員、包括支援センター、学校関係者等各事業団体の方々も多数参加していただいています。部会ではその方々に取り組み内容や、地域での活動等のお話をしていただき、個々にできるネットワークについて協議しています。

我がまち木曾川町は、素敵な所

新型コロナウイルスが日々の生活に及ぼす影響はまだありますが、Withコロナで知恵を出し合い、出来ることを見つけて活動する状況になってきたように思います。「コロナ禍だからこそ」と始めたホームページの投稿欄、みなさんご覧になってくださっていますか？

女性部会ではホームページのメンテナンスにも力を入れて、「ちょっといい話」「木曾川町のいいところ発見」など、身近な話題を毎月1日に更新しています。

今年度は、特に『木曾川町は素敵な所』とみなさんが感じられるような情報の紹介にも力を入れて発信していきたいと思えます。

木曾川町にお住いのみなさんからの情報や写真、ご意見を絶賛募集中です!
ホームページのご意見箱から「こんな話どうですか?」「こんな要望があります」とご連絡ください。

やり方は簡単です。下記のQRコードをスマホにかざしてみてください。

みなさんからのご連絡をお待ちしています。



←地域づくり協議会へのご意見はこちらから(*~*)



みなさまのお役に立つ情報がいっぱい

広報部会長 菱川 陽子

地域づくり協議会はボランティアで、縁あって集まったメンバーが、この木曾川町を、年齢問わず安心安全に暮らせる町、活気があり魅力ある町、支えあう町、そして素敵なおところにしようと、いろいろなことにチャレンジし活動しています。メンバーの活動や想いも一緒に、この「地域づくり協議会だより」を通じて発信していきたいと思えます。まずは、地域づくり協議会のことを知っていただき、興味を持っていただき、参加していただき、そしてみなさんのチカラもお貸しいただけたらと思えます。一緒に活動して下さる仲間&みなさまからの情報提供もお待ちしております♥

木曾川公民館事業について

公民館長 太田 孝子

コロナ禍の中ではありますが、公民館活動にご協力下さいましてありがとうございます。コロナ、コロナで3年目を迎えました。公民館事業も1年目は緊張、緊張で、ほとんど活動していただく事ができませんでした。2年目はコロナ慣れ?少し緊張もとれ、活動が始まりました。文化祭は開催する事ができました。また、各学級では教室も開催いたしました。

“密”はダメ “大声”もダメ “会食”もダメ の昨今ですが、公民館三大事業の一つ『盆踊りのつどい』は日程を変更して1日のみとさせていただきます、8月20日(土)に開催いたします。踊りの輪が大きくなる事を願っております。

体育祭は73町内の公民館推進委員さんへの事前アンケートを実施させていただき、「開催しても良い」は1名の方のみでした。町内の方々のお力添えをいただかなくては実施できません。やむなく中止を決定させていただき事にいたしました。コロナが終息しましたら従来のように町民が一つになれる盛大な体育祭を開催しようではありませんか。

文化祭は昨年のような形で開催を考えております。今年度は県の指定を受け、学校との連携で協働開催いたします。1中学校と3小学校の若い若い世代の力みなぎる作品に注目したいと思っております。会場もにぎやかになることでしょう。皆様もぜひ足をお運び下さい。11月、コロナの状況が把握できませんが、芸能祭も開催の方向で検討しております。

木曾川連区公民館は市内で一番立派な公民館と言われております。皆様の活動があつてこそ、生きるのではないのでしょうか。ご活躍を期待し、応援致しております。

民生委員・児童委員の改選

民生児童委員協議会会長 江崎 美輝子

「民生委員・児童委員」は地域で生活する誰もが安心して生活できるように、暮らしを見守るボランティアです。そして、住民からのさまざまな生活上の困り事や心配ごとに関する相談に応じ、必要な支援を受けられるように地域の専門機関への「つなぎ役」そして、住民を見守り「支える」としての役割を担っています。その委員の任期は3年です。今年ちょうど任期満了の年にあたり、12月1日に一斉改選されます。改選にあたっては、候補者を各連区・各町内から推薦いただいております。また、主任児童委員も同じように推薦されています。

民生児童委員協議会の本年度の活動としては、1人暮らしの方への訪問や、校区毎の通学路点検・小中学校との交流会や包括支援センターでの研修会等を予定しております。これからも皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

交通安全会研修会を開催

交通安全会 会長 脇田 兼康

5月12日（木）木曾川文化会館で各町内会の交通安全推進員、パトロール隊の皆さんなどを対象に、一宮警察署地域課木曾川幹部交番の小堀所長をお迎えし、「木曾川町連区の交通事故の現状について」と題し研修会を開催しました。

愛知県の交通事故死は、令和3年117名、内7名の方は一宮市内です。一宮市での死亡事故の状況は、夜間の歩行者と自動車の事故、道路横断者と自動車の事故などで、次のことが重要であると説明がありました。

●夜間の注意点

- ①車はヘッドライトのハイビームの活用とスピードの抑止
- ②歩行者は目立ちやすい服装と反射材の着用

●道路横断の注意点

- ①左側から来た車との事故が圧倒的に多い。特に左側の確認が重要
- ②横断歩道を必ず渡る



連区内の今年3月末までの交通事故は、東小学校区1件（昨年比+1件）、西小学校区11件（昨年比+7件）、黒田小学校区5件（昨年比-11件）発生しています。発生場所は、ショッピングセンター周辺や駅周辺、また幹線道路での事故が多発しています。交通安全は、ドライバー、歩行者がそれぞれルールを守り、責任を果たすことで防げます。また「自転車のヘルメット着用の努力義務化と損害賠償責任保険の加入義務化」と「正しい横断歩道の渡り方」の動画が放映され説明がありました。自転車事故では、死亡者の約7割が頭部のケガで、ヘルメットの未着用では約6倍死亡する割合が高くなり、ヘルメットの着用が大変重要であることの説明がありました。自転車と歩行者との事故では約9,500万円の高額な損害賠償額を請求されたケースが紹介されました。自転車は車両です。交通ルールを守り、必ず損害賠償保険に加入しましょう。「目指せ、交通死亡事故ゼロ。交通ルールを必ず守りましょう。」

防犯委員会研修会を開催

防犯委員会 代表者 脇田 兼康

5月31日（火）木曾川文化会館で、各町内会の防犯委員、パトロール隊の皆さんなどを対象に、一宮警察署生活安全課伊藤警部補をお迎えし、「木曾川町連区の犯罪状況と特殊詐欺被害状況」と題し研修会を開催しました。木曾川町の犯罪で多いのは「侵入盗」と「自転車盗」です。「侵入盗」は、無施錠の家やガラス割りの犯行で、住宅だけでなく最近では事務所・病院も狙われています。対応は「必ず施錠する」ことと、できれば「二重ロック」にすることで犯行を減らすことができます。「自転車盗」の半数は、JR木曾川駅周辺の駐輪場とその周辺マンション駐輪場です。特にマンション駐輪場での被害の8割が無施錠であったとのこと。敷地内でも必ず施錠するよう心掛けましょう。次に「特殊詐欺被害」は、木曾川町で今年に入り3件の被害が出ています。内訳は「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「預貯金詐欺」が各1件です。成りすましの傾向は、市役所職員、警察官、銀行協会などと幅広くなっています。「自分は大丈夫」という先入観のある人ほど被害に遭いやすいとのこと。

- ・固定電話では留守番電話機能を活用し、簡単に電話に出ないこと!!
- ・怪しい人物が訪問した場合は必ず身分証明書を確認すること!!

令和3年特殊詐欺は、愛知県で874件、被害額は約13億6,000万円です。一宮市では、23件、被害額3,225万円です。今年に入り、一宮市では5月までに23件、被害額は約7,041万円の被害があり、激増しています。

●特殊詐欺被害を防ぐキーワード

- ①還付金詐欺 「コンビニで還付金は戻らない」
- ②オレオレ詐欺 「まず確認・相談」「渡すなキャッシュカード」
- ③預貯金詐欺 「教えるな暗証番号」
- ④架空請求詐欺 「電子マネーで払えは詐欺」



詐欺犯罪が多発しています。町内会やご近所で是非「ロコミ」で広めて下さい。